

授業科目名 ( 英文名 )	グローバル理・工海外実践 ( Overseas Study Tour for Science & Engineering Students )	科目区分 対象学生	
単位数	1.0	開講年次・ 学期	2年次・後期 集中講義
担当教員	大内 幹雄 朝熊 裕介	所属	総合教育機構 ( 大内 )、工学研究科 ( 朝熊 )
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>学生の海外研修体験は外国語能力の向上、異なる文化に柔軟に対応できる能力を育成する上で重要である。本研修では工学部・理学部学生のための「英語で学ぶ学習プログラム」を実施し、科学英語をキーワードにした様々な交流活動を通して、グローバルリーダーのための教養を身につけることを目的とする。</p> <p>本講義 ( 海外研修 ) の到達目標は、海外研修を通して実践的な英語能力を修得し、海外の文化、研究環境を理解し、応用的思考をもつことができるようになることである。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 ( 海外研修内容 )</p> <p>海外研修日程 ( 予定 ) 2020年3月中旬。7泊9日。西オーストラリア州パースにて海外研修を行う。工学研究科朝熊裕介が引率教員となる。</p> <p>授業計画 ( 事前事後学習と海外研修計画 )</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前学習。海外研修の目的、海外での滞在、異文化交流について</li> <li>2.3.4. 西オーストラリア州パースに支店を置く日本企業訪問 ( 2社 )</li> <li>5.6. ウィルトン高校 ( 兵庫県立大学附属高校姉妹校 ) 訪問。授業参加を通じた交流活動</li> <li>7.8. 西オーストラリア州兵庫文化交流センター訪問。所長講話、市民との交流会参加</li> <li>9. 西オーストラリア州の自然資源について学ぶ。パース造幣局、Kings Park見学</li> <li>10.11.12.13. カーティン大学理工系学部訪問、研究施設見学、研究者との交流活動</li> <li>14. カーティン大学学生 ( 日本語を学ぶ学生 ) との交流活動</li> <li>15. 事後学習。帰国後報告会と、まとめ。到達度の確認</li> </ol>		
テキスト	指定しない。海外研修に関する資料を事前学習、事後学習の講義中に配布する。		
参考文献	事前学習の講義および海外研修中に、随時紹介する。		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 ( GLEP学生のみ )</p> <p>本講義 ( 海外研修 ) の意義と内容を理解し、積極的に研修に取り組んだ者に単位を授与する。</p> <p>成績評価の方法 ( GLEP学生のみ )</p> <p>事前学習課題 ( 10% )、海外研修中の課題学習 ( 80% )、帰国後課題レポート ( 10% ) を基準にして、受講態度 ( 取り組み度 ) を含めて総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>履修にあたり、ガイダンス ( 参加学生募集説明会 ) を行う。履修学生数は8名を限度とし、工学部・理学部2回生の履修を認める。ホームステイ ( 4泊 ) を含む予定で、ホームステイでの行動に従う学生の履修を認める。履修許可はGLRPの学生 ( 工学部・理学部2回生 ) を優先することがある。海外研修の日程は2020年3月中旬を予定し、詳細は2019年10月に姫路工学キャンパスおよび播磨理学キャンパスに掲示する。</p>		
実践的教育	<p>該当する。</p> <p>海外研修の中で、企業を訪問する研修を行い、企業の経営者、研究者からの講義を受ける。</p>		
備考	<p>講義 ( 集中講義、海外研修内容 ) の順序を変更することがあり、説明会、事前学習授業で連絡をする。募集期間は10月24日～11月14日を予定。履修登録およびこの海外研修内容全般について質問のある学生は随時相談に来ること。</p>		